

P2 キャッシュレス決済ポイント還元事業

質問	回答
Q1 桑名市民でなくてもいいか？	A1 利用いただくのはどなたでも可。
Q2 他市の実施状況は？	A2 全国的には同じような時期に実施しているところは散見される。県内ではあまり聞いてない。
Q3 これまでの実施による効果の実感は？	A3 1回目に比べるとキャッシュレスへの理解が進んで、多くの方が使っている。利用のハードルが下がっている。8月という業者からみたら売り上げが下がる時期の取り組みであるため、地域の商売をされている人も元気になったらという思いがある。市民の方にも物価高騰の今、ぜひ活用してもらいたい。

P4 桑名市グローバル人材育成事業 桑名市海外留学支援奨学金 令和7年度募集結果について

質問	回答
なし	

P8 女性のウェルビーイング推進事業について ころ・カラダラボ始動！

質問	回答
Q1 発足式では何をするのか？	A1 経営者や専門家(婦人科医)に集まっていただき、ラボの説明や期待することなどを意見交換し、企業募集をその日からする。
Q2 参加している企業はあるのか？	A2 市内の女性がどのように働いているかの声を聴かせていただいている企業がいる。
Q3 どれだけの事業者に参加してほしいのか？	A3 数は考えていない。女性のウェルビーイングについて一緒に企画ができるような事業者。エステなど事業の内容があっているような事業者などを想定している。
Q4 参加に費用はかかるのか？	A4 現時点ではかからない。

Q5 市も県もダイバーシティに昔から取り組んでいるが、従来のダイバーシティと今回の取り組みは何が違うのか？	A5 今までダイバーシティや男女共同参画は、重要な考え方であると思っている。しかし、女性は社会でもや、家庭でも活躍せざるを得ず女性に負担がのしかかっているのも事実。その中で、心や体の不調もある。そこにフォーカスを当てるのが今回のポイント。今までの取り組みを否定するものではなく、女性が健康になればより活躍しやすくなるのでは。女性の心と体に寄り添った取り組みになる。
Q6 女性にさらに活躍してほしいという趣旨か？	A6 もっと活躍というよりは、活躍しやすくするのがポイント。アンケートをとると、生理が重すぎて受験に支障があるなどある。そういうことを理解して、そこを解決しなければならない。

P12 桑名市人口減少対策パッケージの推進 子どもの将来の可能性を広げる！子どもの体験機会を拡充する「子どもの夢・未来創造事業」の対象範囲を拡大！

質問	回答
Q1 メニューの詳しい内容はURLから見られるのか？	A1 URLで見られる。学校向けで申し込みが多かったのはパッカー車の見学。
Q2 今年の4月からやっているのか？	A2 今年の4月から事業を始めている。
Q3 学童にも対象を拡大したのはなぜか？	A3 もともと子どもたちにいろいろな体験をしてほしいという思いでスタートし、はじめは小中学校向けにスタートした。もともとそういう思いがあったため、夏休みなので学童等にも広げた。
Q4 この事業で実現したいことは？	A4 今回の事業は子どもたちにいろんなことを体験してほしい。学校の授業だけでは学べないことなど、いろんな体験を用意しているので自分の将来を見つめる体験をしてほしい。

P15 令和7年度大河ドラマ誘致プロジェクト 「本多忠勝」フェスの開催

質問	回答
Q1 本多家の忍者が鷹匠だった話は信憑性は高いのか？	A1 山田先生にも見てもらい、その解釈で良いのではないかとお墨付きをもらった。
Q2 証明する何かは見ついているのか？	A2 山田先生からは別の資料があると聞いている。そこも含めて講演会で講演いただく。

Q3 集客目標は？	A3 講演会、座談会は小ホールで各定員300人、2日間で全部の参加者で600人以上を見込んでいる。なりきり選手権の参加者11名申し込みがある。全体で700～800人くらいお越しいただきたい。
Q4 市としてフェスは初めてなのか？	A4 フェスというのは初めて。2日間連続は初めて。単発で座談会などは行っていた。
Q5 いつくらいまで大河ドラマを誘致できたらと考えているのか？	A5 いつまでとは決めにくい。誘致活動が全国で50数か所あると聞いている。今放送されている大河ドラマは誘致活動などしていない。どこまでとは言いづらい。決まるまでやり続ける。
Q6 市民の要望や思いが強いのか？	A6 物産振興協会や観光協会の皆さんが忠勝・千姫を大河ドラマにしようというシールを自分たちの商品に貼ってPRしている。その方たちの思いにもこたえていきたい。
Q7 本多家の忍者は鷹匠であったのは新事実ということか？	A7 そうすることである。
Q8 忠勝ストラップはどのあたりが忠勝なのか？	A8 忠勝は甲冑を着ている時は大きな数珠をつけている。それをイメージした。
Q9 8/22, 23というのは忠勝に関連しているのか？	A9 関係なし。子どもに参加してもらいイベントもあるので夏休み期間中に設定した。
Q10 鷹匠が忍者だったのは本多家以外に例はあるのか？	A10 あまり例がないと山田先生は言っていた。

その他

質問	回答
Q1 カスハラ認定をはじめてしたが、反響はどうか？	A1 報道後、全国から数件ご意見をいただいた。よくやってくれたという声やそれぞれの考えをいただく。
Q2 警告書の反応は？	A2 30日付で送付したが特に反応なし。
Q3 改めて、意義はあったか？	A3 改めてカスハラが良くないことだと多くの人に認識してもらえたのでは。今後もカスハラの無いまちづくりを進めていきたい。

Q4 明日が参院選の公示。一政治家として応援してる党はあるのか？	A4 4人が立候補して3人桑名出身という珍しい状況である。自分の選挙の際に応援していただいた政党は、応援したい。
Q5 2万円現金給付についてはどうか？	A5 地方自治体の負担はかなり大きくなる。定額給付金の際にも国でやってほしいと要望した。1日80人の職員が張り付いてやっていた。普段の仕事しながら大変な中でやっていった。マイナンバーカードがあるからと言って、全員紐づけられていないから、大変なことには変わらない。市長会から何度も要望している。地方のことを理解いただいた上での政策にしてほしい。
Q6 この地域として参議院選挙に期待していることは？	A6 国民の皆さんが物価高騰で困っているのが強いため、目の前のこともしていただきたいが、将来的に日本を、地方をどうしたいのかということをしっかり訴えていただけるとうれしい。人口減少していく中で地方創生を求められていて、指針のない中で地方自治体が努力をして成り立っている。長期的な視点での日本の在り方、地方の在り方を訴えてもらえるとありがたい。
Q7 名古屋市長が会見中倒れた。首長も人間なのでどこかで公務ができなくなる瞬間があると思うが、桑名市として仮に公務ができなくなったらどういう風な形で引き継ぐのか？	A7 引き継げる状況であれば職務代理をたてる。順位が決められている。平野副市長→水谷副市長の順。
Q8 名古屋市長は6月は1日しか休みがなかったという話があったが、首長は激務なのか。忙しい中で体調管理や休みはどうバランスをとっているのか？	A8 かなり多忙というか、休みが少ない業務ではある。自分は今は休むようにしている。就任して1年目は休む暇なく働いていたが、自分が動く職員も誰かは働く必要があるため、休むようにしている。 R6年度59日、月平均4.9日 R7年度13日、月平均4.3日

Q9 5月末から6月に学校再編説明会もあって、ここまでの議論をどう思っているのか？	A9 教育委員会の素案があって議論している。さまざまな反応をいただく想定でやっているので、たくさん意見をいただいたことをありがたく思っている。会場にお越しになった人の中でも反対の声が大きく、具体的なことを聞きにくかったという声がある。どのタイミングでするのか、するとなった時に通学についてや具体的なことが聞けなかったという意見もある。教育委員会主催であるが、具体的な話ができる仕組みがいるという話は共有している。自治会単位やPTA単位で教育委員会の人に説明してほしいという声をいただいているので、そういうことを積み上げていくフェーズに入っている。さまざまな声があってしかるべきだし、それは受け止めたい。
--	--